

# だい かい しょうわ みらい かいぎ 第5回「昭和未来会議」のまとめ

## 1. がいよう 概要

へいせい ねん がつ か ちりゅうだんち しょうわろうじんいこい いえ だい かいしょうわみらいかいぎ かいぎ  
平成28年10月9日、知立団地「昭和老人憩の家」にて、第5回昭和未来会議を開催しました。  
こんかい めい かつ さんか  
今回も11名の方にご参加いただき、『やりたいコト』の中から、『まずできるコト』をはじめよ  
う！」をテーマに話しあいました。

## 2. まとめ

こんかい だい かい ひ つづ かわ かいだい たい ぐたいてき  
今回は第4回に引き続き、テーマごとのグループに分かれ、課題に対して具体的にどんなこと  
ができるか、やりたいかについて、これまで出された意見の追加や整理を行い、まず取り組んで  
みることに話し合いました。かく グループの意見を集約すると、以下のようにになりました。

※マーカー部分ぶぶんは今回の会議こんかい かいぎで新たに出た意見あら で いけんです。

グループ①『交流促進①～イベント等で交流の機会を！～』

お祭りなど

- ・ 東小学校区の全住民対象でお祭（飲食は無料で） → 市からの補助があれば
- ・ 昭和地区全体で祭りをやる。（例：盆踊り）
- ・ 現在行っている昭和盆踊りをPRして、規模を大きくしたい
- ・ 学校の運動会を地域の人に参加できるように
- ・ 10/30に秋まつり。子どもは誰でも参加できるように

東っ子カーニバル

- ・ 東っ子カーニバルを昭和全体で
- ・ 東っ子カーニバルを一日だけのイベントではなく、継続・発展させたい

居住外国人との交流

- ・ 外国人も交えてサッカー、フットサル
- ・ 知立団地居住の外国人と盆踊りなどを通じて交流したい。
- ・ 外国人は日本（知立団地）に住んで、どんなことに困っているのか？
- ・ 外国人はいそがしい。日本人は高齢者が多い
- ・ 外国人はきちんと話したらわかってくれる。ごみの出し方を周知してくれた
- ・ 情報共有（福祉、外国人について）と交流
- ・ 外国人の親の日本語教室 → すでにやっている
- ・ 自治会に外国人に入ってもらおう
- ・ 若い外国人が今後のカギ
- ・ 草取り、ゴミ拾い、掃除を通じた交流

防災

- ・ イベントを実施することで、団地の外周、団地内、外国人との交流が生まれ、たくさんの人と関われる。その人達で防災等の協力体制を確立する
- ・ 防災訓練を楽しくやる
- ・ イベントは方法であって、目的をもつことが大切。防災協力体制をつくること
- ・ イモ煮会と防災訓練で人を呼ぶ
- ・ 防災訓練をイモ煮会と一しょにやる

## 人・資金の課題

- ・イニシアティブをとる人がいない。9つの区に分かれている
- ・昭和地区全体でやろうとするにも、イニシアティブを取る人がいない
- ・1～9丁目 → 誰が中心となってやるか？
- ・若い人が入ってくれることが難しい
- ・高齢化と資金が壁？
- ・人や資金を集めること
- ・既にさまざまあるイベント、これを発展させようとしたら、金・設備・中心人物
- ・若い人が仕事で忙しい → 定年後の人で頑張ることも大切
- ・一人に責任を負わせるのではなく、分担してやらないと続かない

## イベントの拡大について

- ・来年の盆踊りのため、今のメンバーを実行委員としてはどうか。
- ・盆踊りを大きくしたい
- ・広い場所でやれると人がほしい
- ・1年越しでやるのが、大きくするには必要
- ・この会議に便乗して、大きくできないか
- ・来年は縮小したいと思っている
- ・発展させようと思ったら、人が来ないかもしれない。できる範囲でいい
- ・こじんまりとしたところでもやっていくのでもよいのでは
- ・3丁目の行事（はじめは有志で → 地域の行事になり、計画にも組み込まれていった）

## 団地内外の協力

- ・行事を他の自治会と一しょにやる
- ・団地の外で協力しないと、イベントは難しい
- ・団地は外国人と高齢者、団地外は若い新しい人
- ・団地内外 → 情報共有から

## その他

- ・まずは未来会議メンバーで交流会。第4回がおわったら打ち上げ。メンバーの交流を深める
- ・これから団地内に日本人はいなくなる
- ・区長会を組織化しないと
- ・イベントが目的でなく、共同体制をつくるのが大切
- ・イベント（料理など）などの楽しい場と認知症を学ぶ勉強会があれば

こ びょうどう  
・子どもには平等に

き ひとどうし せってん はじ  
・やる気のある人同士の接点から始める

じちかい かい なに  
・いろんな自治会や会が何をやっているかわからない

ちょうめ いもにかい  
・3丁目はまとまっている（芋煮会など）

## グループ②『交流促進②～交流の場づくり～』

### 知り合いづくり

- ・ 児童センターで互いの文化の紹介
- ・ 既存の活動に人を呼びこむ。集まりやすいもの
- ・ スーパーなどで何気ない会話ができるようにする
- ・ 何気ない会話ができないのは、知らないから
- ・ 知りあいを増やす・知りあいを増やせる活動をする
- ・ まず交流会を開き、知り合う機会をつくる
- ・ あらたまって集まる場を設けるのもよいが、気軽に参加できる場があるとよい
- ・ お茶会、集会場などで話しやすい場をつくる
- ・ 週に1回会いましょうなど → 友達を連れてくる
- ・ 時間のある人が寄りあって、人の輪をつくる
- ・ 信頼関係をどうやって築くか。まずお互いあいさつのできる関係になる
- ・ 仲間づくりから始める
- ・ 人材のマッチングなどの場をつくる（昭和未来会議を通じてでもよいかも）
- ・ 身近な行事を誘いあって、共に参加する

### 公園

- ・ 大人が見守り、子どもが自由に遊べる場所づくり
- ・ 子どもの遊び場づくり。大人は見守りと手助け
- ・ 子どもに対し、外遊びをすすめる
- ・ 子どもの遊び場づくり
- ・ 公園でスポーツ鬼ごっこをする
- ・ 以前公園にあったバスケットゴールを直す、戻してほしい（遊ぶ場として）
- ・ 公園で昔遊びを大人が教える
- ・ 公園などで一緒に体操など楽しいことをして、仲を深める
- ・ ラジオ体操 → その後に交流できるとよい
- ・ 夏休み以外でも公園でラジオ体操をやるといいかも
- ・ ラジオ体操後の時間を利用して、交流する

## 食

- ・ もやいこモーニングみたいなものを公園でやる
- ・ 公園で持ち寄りランチ会をする
- ・ お茶会、集会場などで話しやすい場をつくる → お茶会は、森さんのお嫁さんがやっている。子どもも来る

## スポーツ

- ・ 公園でボール遊びをできるようにしてほしい
- ・ バスケットゴールがほしい
- ・ フットサルの子どもの大会をやってみる

## 多文化交流

- ・ 外国人の話聞ける場所がほしい
- ・ 外国の方、日本の方ともに交流できる場づくり
- ・ 外国の方も防災訓練に参加してもらいたい
- ・ 外国人の親世代、子世代の実情を知れるとよい
- ・ 言葉を（日常）学ぶ教室をつくり、参加する
- ・ 学校を通じて、外国人と日本人の地区交流
- ・ 外国人が多く住んでいるが、リーダーがいない。リーダーを決めてもらい、会話したい。誰に相談していいのかわからない。できれば自治会などの役員に。
- ・ 役所が中心となり、外国人との交流のためのお見合いをする
- ・ バス停での外国人への声かけ。バス停の整備→バス停の屋根
- ・ バス停交流の紹介 ※可能であれば写真等に残して紹介できないか検討してみる
- ・ マルスに日本人が増えた
- ・ 外国の交流？ 昭和の交流？

## 多世代交流

- ・ 世代（子ども、高齢者）に関わらず、遊んだり交流がもてるとよい
- ・ お年寄りの知恵を子どもに
- ・ 老人は老人同士、子どもは子ども同士、同じ場所で遊ぶ
- ・ 大人も子どももいっしょに交流できる場づくり
- ・ 子どもを守る、高齢者が集まる、外国人と関わる、3つが重なるといい

## 活動

- ・ 愛護会での活動紹介
- ・ 囲碁・将棋をやっている

・「きれいな昭和の日」のようなものをつくって、みんなで地区をきれいにする。子どもたちにごみのポイ捨てを指導する

・誰にでもできることは何かあるか？

・大人向け、以前はやってた。市、国際交流協会

・3丁目自治会。春一花見、秋一芋煮（15人で）に参加してもらっても、その後につながらない。 → 見学に来てもらって…とか

・若い人に参加してもらおう。会の時間等

### 地区内外のつながり

・昭和地区の方で交流するのもよいが、他地区の方も気軽に参加できる場があるとよい

・つながりたい人とつながれない。ネットワークづくり、情報交換

### その他

・人材、協同化

・8/28 市主催の防災訓練は一人も来ない。9/10多文化

・もやいこの有効利用。本来の目的。一度声を聞く

・中島さん、おち先生

・施設を広くできれば。隣も使えれば

・三浦さん、喫茶店。何か

## グループ③『支援が必要な方に対してできること』

### 高齢者への対応

- ・ 支援を必要としている人を地域で把握する。災害のときなど
- ・ ごみ出し支援（高齢者）。安否の確認 → 近所の住民に意識をもってもらう  
→ 情報を得ていく。行政連絡員、民生委員、階段10軒の共同意識
- ・ 棟ごとに組長さんを、外国人をふくめておきたい。
- ・ 日本人のお年寄りや外国人がなかよくなってほしい。災害の時に助けあえるので、意識を高める
- ・ 健康は大きな関心事（高齢化の中で）。身近な健康サロンがあればいいな

### 認知症を学ぶ

- 認知症サポーター養成講座で、地域の方と顔合わせ＆学ぶ
- 認知症などの心配のある人に、どのように対応したらよいか不安
- 学ぶ場所（認知症等の病気について）がほしい

### 外国人への対応

- ・ 遠くから来ている外国人への対応。困り事の相談窓口
- ・ 周知不足？ もやいこハウスで週3日通訳を実施している。10時～12時は閉まっている
- ・ 地域ですれちがった人には、笑顔で挨拶。親になれば支援の必要な方がみえてくる

### 外国人へのルール周知

- ・ ごみ捨てルール。回収の後、すぐに可燃ごみを捨てるのでルールを教える
- ・ クーラーのホース（北側の窓）を外に出しているので困っている  
→ 解決方法を教える
- ・ 外国人へのルールの伝達 → 仲介できる人（行政に精通、通訳も）
- ・ 日本の税金などのしくみなどがわからない → 多言語化、ルールを理解してもらう
- ・ 同報無線を多言語にしてほしい
- ・ 外国語で質問したらすぐ返事が来るようなスマホの機能がほしい。市役所かネットの掲示板があればできるのでは

### 支援する人の確保

- ・ 町内に支援員をつくる・増やす
- ・ 友達（助けてくれる人）を増やす機会がほしい
- ・ 町内会（会長だけではない）でサポーターがほしい
- ・ 高齢者のサポーターが身近にあるといい
- ・ スクールガードサポーターに感謝料を渡すと増えるのでは？



- ・ 区長の支援をしてくれる人が必要
- ↑ 少しの寸志があるとよい

## 人が集まる場

- ・ 集まる場所は？
- ・ イベントが、人が集まるきっかけになる
- ・ 文化展をやる会場がない
- ・ 施設の設定不具合がある
- ・ 東小学校の空き教室を利用する
- ・ 管理方法の再検討
- ・ 放課後子ども教室を活かしていく
- ・ 児童センター
- ・ もやいこハウス
- ・ 老人憩の家
- ・ 外国人向けレストランなど